

電波時計（デジタル目覚まし時計ラジオ付）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- AM/FMラジオ付
- 温度表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。 (Y1012)

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

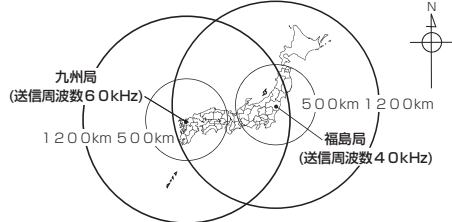
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。 (http://jij.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。

保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

(フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ114」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

してはいけない「禁止」内容です。

必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

液晶表示板について

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

●温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。

●温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。

●浴室など湿気が多い所。

●ほこりが多く発生する所。

●テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●温泉場など、ガスの発生する所。

●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

おもな製品仕様

時計・温度計測機能

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
(液晶表示可読温度範囲0～40℃)

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒
標準電波を受信しない場合
平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命 約1年

標準電波 標準電波を受信して日付・時刻を修正

受信局 福島局/九州局自動選択

受信回数 1日8回

電波受信開始時刻
1:16:40, 2:16:40, 3:16:40, 4:16:40, 13:16:40, 14:16:40, 15:16:40, 16:16:40

ラジオ機能

受信周波数 FM 76～108MHz
AM 520～1605KHz

スピーカー 直径 5cm 丸型 8Ω 0.5W

出力端子 イヤホン端子 φ3.5mm モノラル

入力端子 DC 4.5V 200mA

電源 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
AC電源アダプター DC4.5V 200mA (別売品)

電池持続時間 電池で約35時間連続使用可能 音量中位

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品
単3形アルカリ乾電池 4個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

アラーム機能 設定した時刻にアラームが鳴る

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒

アラーム音 電子音、ラジオ選択式

スヌーズ あり(止めてもまた鳴る)

オートストップ あり(自動鳴り止め)

カレンダー 2008～2099年対応

温度表示 -9.9～50℃

温度精度 ±2℃ 測定温度範囲内での精度

照明 液晶表示部バックライト

●電池に傷をつけたり、分解しない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●時計を使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。

火に入れると破裂の原因となり危険です。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。
- 電池を取り外してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

③ 強制受信ボタンとリセットボタンのちがい

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

つぎのようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手でアラーム時刻または時刻を設定している最中

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

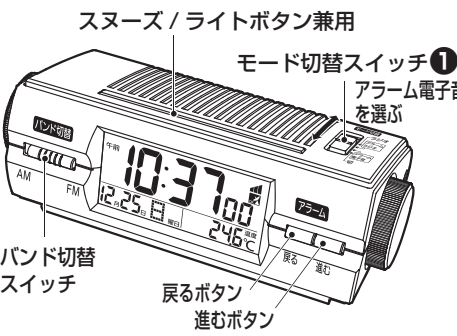
受信機能がONのときは、受信を開始します。

※受信機能がOFFのときは、強制受信ボタンまたはリセットボタンを押しても受信を開始しません。

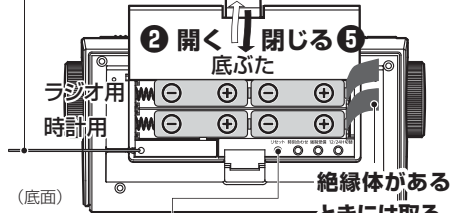
1. 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。この時計は、正面およびやや上方から見たときに見やすくなります。



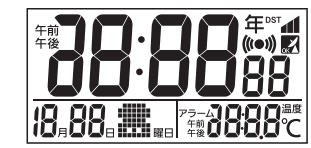
底ぶたを閉じるときに、断線させないように注意してください。



リセットボタン、電池を入れる、単3形アルカリ乾電池 4個、ボールペンの先など電池ホルダーがラジオと時計で押すように分かれています。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



受信マーク(受信中点滅)



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

〈受信終了〉 最長21分後



(受信に成功したときの表示例)

受信に成功して受信マークが点灯しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

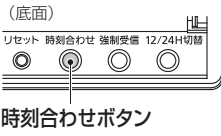
標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、取扱説明書の日本地図を参考にして時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。
- 手動で時刻を合わせる
手動で日付と時刻を合わせてください。時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき



- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづけます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
▶進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと1つ単位に変わり、押しつづけると連続して変わります。
▶時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。
※電波受信機能のON/OFF操作 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- 電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

A 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押しください。○「ピー」と鳴ってから押しください。○3回目は「ピー」と鳴りません。○日付および時刻は手動で合わせてください。
◎操作のタイミングによっては、ON/OFF が切り替わらないことがあります。このようなときは操作を繰り返してください。
◎モード切替スイッチが「アラーム電子音」以外では、確認音「ピー」が鳴りません。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ** をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- モード切替スイッチを「アラーム電子音」にする
アラーム電子音以外のときは、確認音が鳴りません。
- 底ぶたを開ける
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れると電子音が「ピー」と鳴る
電池の⊕⊖を逆向きに入れると液もれ、発熱、破裂の危険があります。
- リセットボタンを押すと受信を開始
時計用の電池を入れた後は必ず押しください。
◎受信中はボタンに触れないでください。
- 底ぶたを閉める
- 受信結果を確認する
受信は、最長で約21分を行います。
受信マークで受信結果を確認してください。
※【受信の流れと表示】参照

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)
受信できない → 受信しやすい

チェック!
1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

電波を受信しにくい環境

- つぎのような状態や場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 受信時にラジオ機能を使用しているとき
 - 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - ビルの地下など
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
 - 朝夕の時間帯、雨天のとき
 - 家電製品やOA機器の近く
 - スチール机等の金属製家具の上や近く

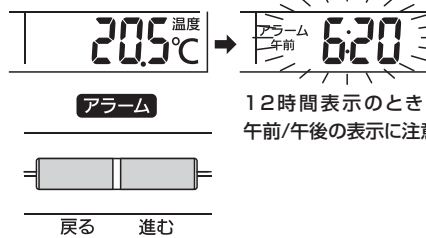
海外でのご使用について

日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

2. アラーム機能を使うとき

アラーム時刻を合わせる

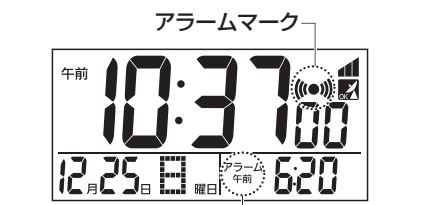
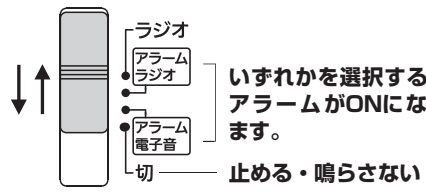
表示例 アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。



- ①進むまたは戻るボタンを押す
「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
- ②アラーム時刻を合わせる
進むまたは戻るボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると早く変わります。
- ③アラーム時刻合わせを終わる
およそ5秒間ボタン操作をしないでください。

アラームのON/OFFを設定

モード切替 モード切替スイッチ



アラームがONになると「アラーム」の文字とアラーム時刻が表示されます。

アラームオートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で音が止まります。

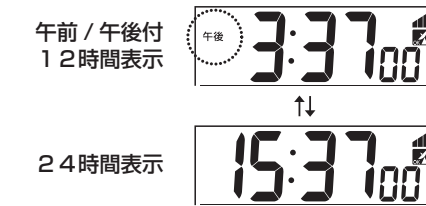
アラーム音を試聴するには

アラーム時刻を現在時刻より、1~2分先の時刻に合わせて、モード切替スイッチを「アラームラジオ」または「アラーム電子音」にしてください。

アラームご使用上の注意

アラームをONのままにすると、毎日アラームが鳴り、電池の消耗を早めます。アラームを使用しないときには、モード切替スイッチを「切」にしてください。

3. 時刻表示形式の切り替え……12時間表示と24時間表示



4. 表示面の照明

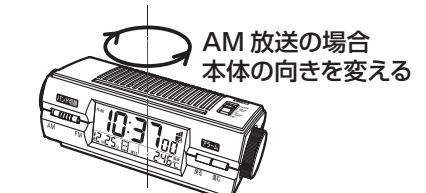
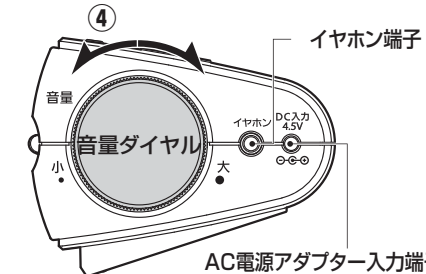
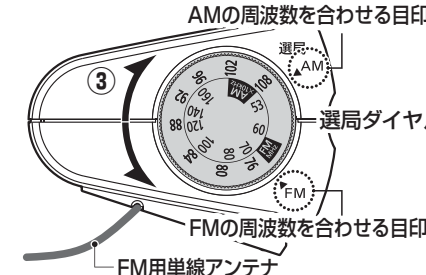
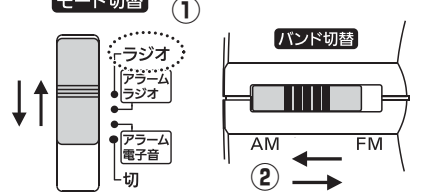
スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明時は正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

5. 温度表示

センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度を反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度 [HH.H] 50°Cより高温 [LLL] -9.9°Cより低温
空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
◎本製品は室内用です。
※厳密な温度管理をする用途には適していません。また、証明や商取引には使用できません。

6. AM/FMラジオを使うには

モード切替スイッチ バンド切替スイッチ



設置場所により受信感度が変わりますので、窓際など受信しやすいところでお使いください。

- ①モード切替スイッチをラジオの位置に合わせる
- ②バンド切替スイッチをAMまたはFM位置に合わせる
- ③選局ダイヤルを回して聞きたい放送局に合わせる
受信感度を調節するには**【アンテナの取り扱い】**をお読みください。
- ④音量ダイヤルを回して音量を調節する

イヤホンで聞くには

φ3.5mm モノラルミニジャック仕様のイヤホンを別途ご用意いただき、イヤホン端子に接続してください。接続すると本体のスピーカーからラジオの音が出なくなります。※アラームでラジオを利用するときには、イヤホンを取り外してください。

アンテナの取り扱い

AM放送の場合
内部にあるバーアンテナによって受信します。時計本体を音声が見えなくなる方向に向けてください。

FM放送の場合
本体底部のFM単線アンテナをまっすぐに伸ばして、音声が見えなくなる方向に向けます。
●FM単線アンテナを無理に引っ張ると断線することがあります。
●金属物の近くに置くと受信状態が悪くなる場合があります。
●パソコン、テレビなどの家電製品の近くでは受信がしにくくなります。離れたところでご使用ください。

別売品 ラジオ用AC電源アダプターについて

- ラジオを頻繁に使用するときには、別売品の専用AC電源アダプターをご利用ください。購入に際しては、お買い上げ販売店にご相談ください。
- AC電源アダプターはラジオ専用です。時計機能には電力を供給しません。
 - 指定以外のAC電源アダプターを使用した場合、ノイズが入りやすくなったり、故障や火災などの原因になることがあります。
 - AC電源アダプターの取扱説明書をよくお読みの上でご使用ください。
 - AC電源アダプターを使用するときには、電池からの液もれを防ぐために、ラジオ用の電池を取り出してください。

7. 電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったとき、ラジオの音が小さくなったり、聞こえなくなったり、動いていても1年に1回定期的に交換するときは、新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
- マンガンとアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。